

大宮神社社報

社報第11号
大宮神社
旭区大宮
三丁目一番三七号

平成二十八年
申年
迎春

謹んで新春のお慶びを
申し上げます

氏子崇敬者の皆様におかれましては、つづがなく新年を迎えられたことと寿ぎ申し上げます。旧年中は当社に多大なるご協力ご奉賛をいただき、誠にありがとうございました。昨年はお慶びにおきまして大きな変化の年となりました。秋祭神輿



秋祭お渡り神事ご奉仕

お渡りの復活を計画し、それに伴い秋祭祭礼日を変更しました。例大祭のみ従来通りの十月二十六日に斎行することとし、神賑行事である大宮子どもみこしや氏子各地区の地車巡行、夜店の出店などを十月第四土日としました。長年親しまれてきたお

祭りの日程が変わることと氏子の皆様にご迷惑をおかけすることのないよう、一年かけて周知広報をさせていただきました。皆様方のご理解ご協力に感謝申し上げます。

この度の神輿お渡りは約六十年ぶりの復活となるため、神輿の整備や巡幸計画、奉仕者の募集など一年がかりで取り組んでまいりました。手探りの中で進められた計画でしたが、氏子崇敬者様、地域役員様、各団体関係者様など多くの皆様のご協力のもと滞りなく当日の巡幸を修めることができました。心よりお礼申し上げます。

本年度も皆様の心のふるさとである氏神様を大切にお守りし、誠意をもって神明奉仕に務めてまいります。今年一年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

宮司 廣瀬哲

秋祭神輿お渡り神事斎行

←約六十年ぶりに巡幸された小神輿。この度鈴棒などの装飾も新調し、台車と引き綱を付けて巡幸しやすく設えられた。



さる十月二十四日に

秋祭神輿お渡り神事が斎行されました。心配された天候も大神様の御恵みにより晴れ渡り、お渡りにふさわしい日となりました。

午後二時半に奉仕者三十余名が集合、三時より大神様の分御霊をお神輿にお遷しする神幸祭が行われました。



(右) 神幸祭 神社神輿のお祓い
(下) 子供みこし宮入 お祓い



そののち共に巡行する大宮みこし会子どもみこし九基が宮入、各基が順にお祓いを受けてから出発するのに合わせて神社神輿も境内を出発（発御）しました。

神輿お渡りの御列は社銘旗や御鉾など威儀物を持った白丁姿の奉仕者を先頭に、宮司、奉仕者の引くお

神輿、提灯が ←社銘旗などの威儀物を先頭に巡幸



←大宮商店街などの大宮地区を巡幸する奉仕者



約二時間の巡幸の後神社に戻り、お神輿より大神様にお戻りいただく還幸祭を斎行。奉仕者一同で和やかに直会が行われました。奉仕者の皆様には心より感謝申し上げます。

この度のお渡り復活を多くの氏子様が楽しみにして下さり、神輿発御を見学に来られた方、巡幸の道中をお見守り下さった方などたくさんの方の笑顔に包まれて執り行うことができました。まさに神様と氏子様の絆を深める祭りの意義にふさわしい神事となりました。



秋祭神輿お渡りはこれから毎年斎行します。

一月の行事予定

献湯神事

一月三日日曜日
午前十一時



氏子崇敬者の無病息災を祈る神事で、正月・春夏秋冬祭の年四回行われます。氏子地区が大きく七地区に分けられることから、七つの湯釜で神事を執り行います。巫女舞により湯釜から振り撒かれたお湯を浴びると無病息災に過ごせるといわれます。お湯と青笹をお神楽を受けていただきます。青笹を頒布しますので家庭でお祀りください。初詣と合わせて年の初めに一年の健康を願う献湯神事にぜひご参列ください。

大宮戎祭

九日土曜日
十日日曜日
十一日月曜日

戎祭は商売繁盛・家内安全を願うお祭りです。九日宵戎、十日本戎、十一日残戎の三日間行われます。たくさん縁起物のついた福笹を受け、お詣りの後は空くじなしの抽選会をお楽しみください。「大宮のえーべっさん」の掛け声、華やかな福娘たち、福笹

を手に受けるお神楽、たくさん夜の店が賑わう大宮戎にご参拝下さい。

とんど 十五日金曜日

とんどは小正月に正月飾りや古いお札など焼納する行事です。受付は午前七時より午後二時半までです。

厄除餅つき大会

毎年一月の最終日曜日に開催される厄除餅つき大会・ふるまいぜんざい大会。大宮みこし会主催。



(右) 毎年氏子地区からたくさんのお福娘がご奉仕されます。元気に華やかに福笹を授与します。



(上) 小判や吉兆などたくさん縁起物のついた福笹
(左) 福娘による福笹授与の様子

厄除祈願のご案内

厄年とは一生のうちで災厄にあいやすく忌むべきとされる年齢です。厄の年は左の表の通りで男性四十二歳、女性三十三歳を大厄として特に注意すべき年とされ、大厄の前年を前厄・後厄といひ三年間厄が続きます。大厄の頃の年齢は体調や社会的地位などの大きな変化のある時期にあたるため、今までの反省や生活に緊張感を与える意味において人生の大

切な節目の年回りともいえるでしょう。厄年は数え年で行なわれるのは、お正月ごとに年を重ねるという日本人の信仰に根ざした生活習慣によるものです。当社では通年でご祈禱を承っております。厄の始まる年の初めから節分にかけてのお詣りが多いのが通例です。なるべくご予約下さい。

平成二十八年厄年表 (数え年)

【男】

25歳(平成4生) 19歳(平成10生)
41歳(昭和51生) 前厄 32歳(昭和60生)
42歳(昭和50生) 大厄 33歳(昭和59生)
43才(昭和49生) 後厄 34歳(昭和58生)
37歳(昭和55生)
61歳(昭和31生) 還暦 61歳(昭和31生)

【女】

25歳(平成4生) 19歳(平成10生)
41歳(昭和51生) 前厄 32歳(昭和60生)
42歳(昭和50生) 大厄 33歳(昭和59生)
43才(昭和49生) 後厄 34歳(昭和58生)
37歳(昭和55生)
61歳(昭和31生) 還暦 61歳(昭和31生)

一月のご祈禱案内

家内安全、厄除ほか各種ご祈禱を承ります。

受付時間 午前十時～午後三時半

一般祈禱 七千円 会社新年祈禱(要予約) 一万円

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 午前は× 午後には○
4 午前は× 午後には○	5 午前は× 午後には○	6	7 午前は○ 午後には×	8 終日×	9 終日×	10 終日×
11 終日×	12 終日×	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



ご予約をお願いします
ご予約なしで承ります
ご祈禱できません(戎祭のため)

初宮詣など一般祈禱も通常通り承っております。詳しくはお電話ください。
大宮神社 06-6951-2196

境内だより

菊花展開催

境内にて十一月、城北菊花クラブによる菊花展が開かれました。昨年に続いて二回目の開催です。期間中は見事な菊を咲かせ、氏子様や七五三参拝者が楽しみました。

